

金山杉！

「金山町」って聞いたことがありますか？最近、「林業を生かした町おこし」として、NHK等でとりあげられ、脚光を浴びている山形県の北東部、秋田県との県境にある、昔から林業の盛んな町です。

天然秋田杉と並び賞される人工林・金山杉は「日本一の杉美林」とよばれています。70～80年以上の大木が多く「一町歩1万石」と言われるような、銘木級の樹齢250年を超える「金山杉」も林立しているそうです。鹿児島県では県産材を高度に品質管理し、ブランド材として「認証かごしま材」を普及しようと頑張っていますが、金山町は住民生活と一体となった景観づくりに金山杉を活用しているそうです。

「景観とは個人の所有に帰属するものではなく、公共的なものである」という景観公有論を前提とし、その景観づくりの主要な部分となる家並みは、金山型住宅といわれる在来工法を基本とした住宅産業と関連が深く、その延長線上に、木材の消費拡大、林業の総合的振興、観光開発、地域産業の活性化等があります。

1986年には街並景観条例を制定し、「街並み景観づくり100年運動」として、①人と自然との関りづくり、人と自然との共生（調和）づくりの推進。②美しい街並の形成、地域の個性化を推進。③地域風土、地域材（金山杉）、在来工法等、杉を中心とした有機的結合。の三つの目的をたて、具体的な展開をしているそうです。金山杉の販売方法も金山町森林組合が植付けから下刈・間伐・伐採・製材・乾燥（自然・人工）を行った後、①金山匠リレー方式 と②金山杉直送方式 というルートで行っています。①金山匠リレー方式は金山匠大工が手加工した構造材を消費地まで運び、上棟した後、元受工務店に引き渡す方法です。②金山杉直送方式は金山森林組合で厳正に品質管理された構造材から仕上材までを消費地の工務店に直接届けることで、流通経費を省く方式です。

林業を活性化するためには川上の植林から川下の建築までが共通した理念を持つことが大切ですね。

【情報】

「森林環境シンポジウム」が開催されます

下記日程で森林環境シンポジウムが開催されます。

期日 平成17年11月4日（金） PM1:00～4:30

場所 県文化センター

講師 石原 良純 「気象予報士が語る環境問題」

「2005 かごしま住まいと建築展」が行われます。

恒例のかごしま住まいと建築展が下記日程で行われます。

今年のテーマは「21世紀私達の住まいー安全・安心・地球に優しい」です。

また今年度募集されました。2005 かごしま木造住宅コンテストの優秀作品の発表もあります。

土曜日には記念講演会等もあります。

期日 平成17年11月25日（金）～27日（日）

場所 かごしま県民交流センター（旧県庁跡）

講師 三遊亭歌之介 師匠（11月26日 AM11:00～

【定休日】11月は3, 6, 12, 13, 19, 20, 23, 27日となります

12月は4, 10, 11, 18, 25, 29, 30, 31日となります

ご協力をお願いします。

（お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで）

